

出生前診断（胎児超音波スクリーニング検査）専門外来のお知らせ

総合大雄会病院の産科では、2021年2月3日より出生前診断（胎児超音波スクリーニング検査）専門外来を開始いたします。

【胎児超音波スクリーニング検査】

胎児超音波スクリーニング検査とは、お腹の中の赤ちゃんに先天的な異常がないかを超音波で調べる検査です。いつもの妊婦健診の時より時間をかけて、詳細に赤ちゃんの全身（発育や各臓器の形態）を観察するものです。赤ちゃんに先天異常がある場合は、約3%程度と言われていています。その中には、妊娠中の超音波検査でも診断がつかない病気も含まれていますが、出生後に治療が必要な病気については約50%から70%程の確率で見つけることができます。もし、異常が発見された場合は適切な出生後の管理が可能な医療機関へ紹介させて頂くことがあります。

【出生前診断専門外来】

対象週数	1回目（中期） 22週～24週ぐらい 2回目（後期） 28週～30週ぐらい
専門外来日	毎週・水曜日 14時～
検査所要時間	30分程度
検査費用（自費）	当院でご出産予定もしくは妊婦健診で通院されている患者さま 1回目 8,800円（税込） 2回目 4,400円（税込）[当院で1回目を受けられた方] ※上記以外の患者さまの費用 1回目・2回目 11,000円（税込） 別途、遺伝カウンセリング料や選定療養費が加算される場合があります。

ご予約についてはお電話でお願いいたします。

※「胎児超音波スクリーニング検査」希望とスタッフへお伝えください。

この検査ですべての異常がわかるわけではありませんが、お母さまやご家族の不安を少しでも減らし安心して安全な出産の手助けになればと考えています。

※なお、NIPT（母体血胎児染色体検査）は現在準備中につき、外来開始時はホームページでお知らせいたします。

【ご予約・お問い合わせ】総合大雄会病院 産科外来 TEL：0586-26-2030
（電話受付時間 平日/8:30-17:00、土/8:30-12:00）